

# Kansai Economic Insight Monthly

2018/6/22

Vol.62 May/June

▼ APIR “Kansai Economic Insight Monthly”は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

▼ レポート公開時期は毎月第4週を予定しています。

▼ 執筆者は、稲田義久(甲南大学教授、APIR 数量経済分析センター長)、木下祐輔(APIR 調査役)・生田祐介・Cao Thi Khanh Nguyet・馬騰(各 APIR 研究員)及び豊原法彦(関西学院大学教授)です。

▼ 本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

## 目次

要旨	1
関西経済のトレンドとCI, CLI	2
景気の現況	3
関空モニター	10
中国景気モニター	10
主要月次統計	14
Release Calendar	15

## 要旨

### -景気は足下、先行きともに悪化基調\*-

- ✓ 4月の鉱工業生産指数は前月比大幅上昇し、3カ月連続のプラス。また、1-3月平均比でも大幅上昇した。近畿経産局は生産の基調判断を前月から据え置いた。
- ✓ 5月の貿易収支は4カ月連続の黒字となったものの、黒字幅は前年比縮小。アジア向けの半導体関連の輸出が伸びたが、原油高により輸入の伸びが上回ったため。
- ✓ 5月の景気ウォッチャー現状判断DIは、2カ月ぶりの前月比悪化。インバウンド消費は堅調だが、天候不順や3-4月に売上が好調だった衣料品の反動減などが悪化に寄与した。
- ✓ 3月の関西2府4県の現金給与総額は13カ月連続の前年比増加。実質現金給与総額は3カ月ぶりの改善となったものの、物価上昇の影響から伸びは小幅にとどまった。
- ✓ 4月の大型小売店販売額は2カ月連続の前年比プラス。スーパーでは農産品価格の低下により減少したが、百貨店では高額品と初夏物アイテムの好調により増加したため。
- ✓ 4月の新設住宅着工戸数は、分譲マンションの急増により、2カ月ぶりの前年比大幅増加。2015年6月以来の最高値となった。
- ✓ 4月の有効求人倍率は43カ月ぶりに前月比小幅悪化も、依然として高水準で推移。完全失業率は2カ月連続で横ばい。労働力人口と就業者数の増加がみられ、雇用情勢は好調である。
- ✓ 5月の公共工事請負金額は3カ月ぶりの前月比マイナス。基調は前月の持ち直しから減少に転じた。また、4月の建設工事は、2カ月連続で前年比増加した。
- ✓ 5月の関空を利用した訪日外客数は15カ月連続の前年比増加。14カ月連続で2桁増と好調が続く。国籍別にみれば、3月は韓国からの訪日客は7カ月連続で最多を更新した。
- ✓ 5月の中国経済は幾分減速感がみられる。工業生産は2カ月ぶりの前年比減速。1-5月期の(累積)固定資産投資は3カ月連続で減速。社会消費品小売総額は2カ月連続で前年比減速した。

※景気の基調判断はAPIR(豊原法彦関西学院大学教授)開発の関西景気動向指数(CI, CLI)に基づいている。

【関西経済のトレンド】

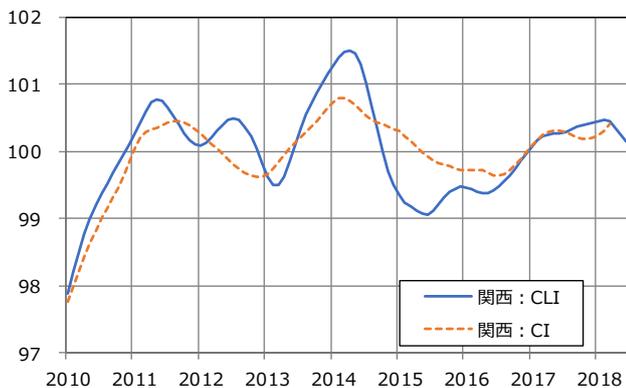
	2017年								2018年				
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
生産	↘	↗	↘	↗	↘	↗	↗	↗	↘	↗	↗	↗	
貿易	→	→	→	↗	↗	→	↗	→	↗	↘	↗	↗	↗
センチメント	↗	↗	→	↘	→	↗	↗	↗	↘	↘	→	→	↘
消費	→	→	→	→	↗	→	↗	→	→	→	→	→	
住宅	→	↘	→	→	→	→	→	↘	↘	↗	↘	↗	
雇用	↗	↗	↗	→	↗	↗	↗	↗	↗	→	↗	↘	
公共工事	↗	↘	↘	↘	↘	↗	↗	→	↗	↘	→	→	↘
中国	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

(\*トレンドの判断基準)

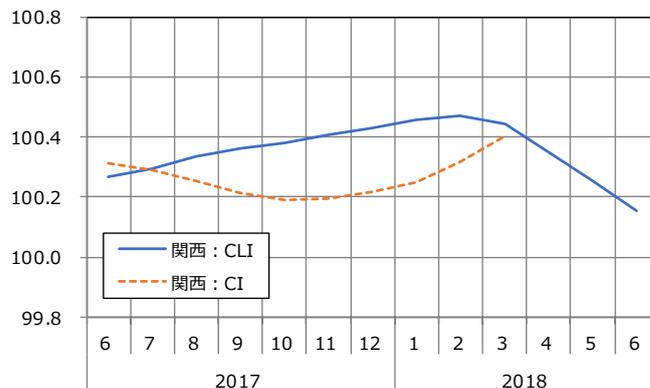
- ・ **生産**：近畿経済産業局『近畿地域域工業生産動向』生産指数(季節調整値)が前月比+0.5%以上であれば上向き、同-0.5%未満であれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **貿易**：大阪税関『貿易統計』の近畿圏貿易収支(入出超額)前年同月から500億円以上の改善は上向き、同500億円以上の悪化は下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **センチメント**：内閣府『景気ウォッチャー調査』の近畿現状判断(方向性)DIが前月比で1ポイント以上の改善は上向き、1ポイント以上の悪化は下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **消費**：近畿経済産業局『大型小売店販売状況』(全店ベース)が前年同月比で1%以上増加していれば上向き、同1%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **住宅**：国土交通省『住宅着工統計』新設住宅着工戸数が前年同月比で5%以上増加していれば上向き、同5%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **雇用**：厚生労働省『一般職業紹介状況』有効求人倍率(季節調整値)が前月比で0.01ポイント以上の改善は上向き、変化がなければ横ばい、0.01ポイント以上の悪化は下向きとする。
- ・ **公共工事**：西日本建設業保証株式会社『公共工事前払金保証統計』公共工事請負金額が前年同月比で5%以上増加していれば上向き、同5%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。

【関西の景気動向指数(CI一致指数・試作 CLI)の推移】

CI一致指数・試作 CLI の推移(2010年1月~2018年6月)



直近1年間の CI・CLI の推移(2017年6月~2018年6月)



## 【鉱工業生産動向】

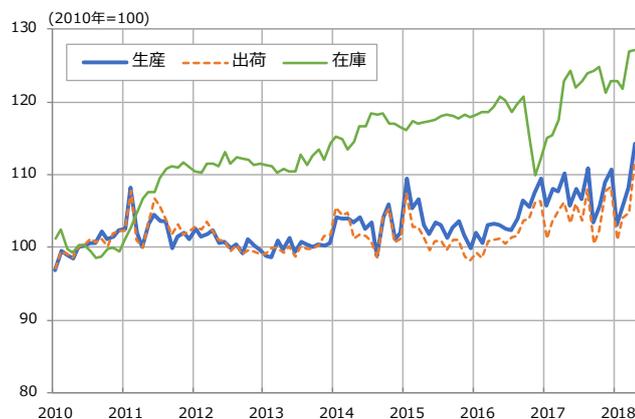
### (1) 関西の生産動向

関西 4 月の鉱工業生産動向(速報値：季節調整済、2010年=100)によれば、生産は 114.3 で、前月比+5.5%と 3 カ月連続の上昇。出荷は 111.4 で、同+6.4%と 3 カ月連続の上昇。在庫は 127.1 で、同+0.1%と 2 カ月連続で上昇した。近畿経済産業局は同月の基調判断を「総じてみれば、生産は持ち直しの動きで推移している」と前月から据え置いた。なお、生産と強い関係がある実質輸出(季節調整済、2015年=100)を見ると、4 月(確報値)は 115.1 で、同+0.1%と 2 カ月連続で上昇した。5 月(速報値)は 113.8 で、同-1.1%と下落した。

業種別に生産指数をみると、はん用・生産用・業務用機械(前月比+28.6%、3 カ月連続)、化学(除・医薬品)(同+5.6%、2 カ月ぶり)、情報通信機械(同+11.9%、3 カ月連続)、輸送機械(除・航空機・鋼船・鉄道車両)(同+4.8%、3 カ月連続)等が増産となった。一方、電子部品・デバイス(同-15.3%、2 カ月ぶり)、電気機械(同-3.2%、2 カ月ぶり)、その他(同-4.2%、2 カ月連続)、プラスチック製品(同-3.2%、2 カ月連続)等が減産となった。

結果、4 月実績(生産)は 1-3 月平均比+8.1%と大きく上昇し、4-6 月期の最初の月としては好調な結果となった。

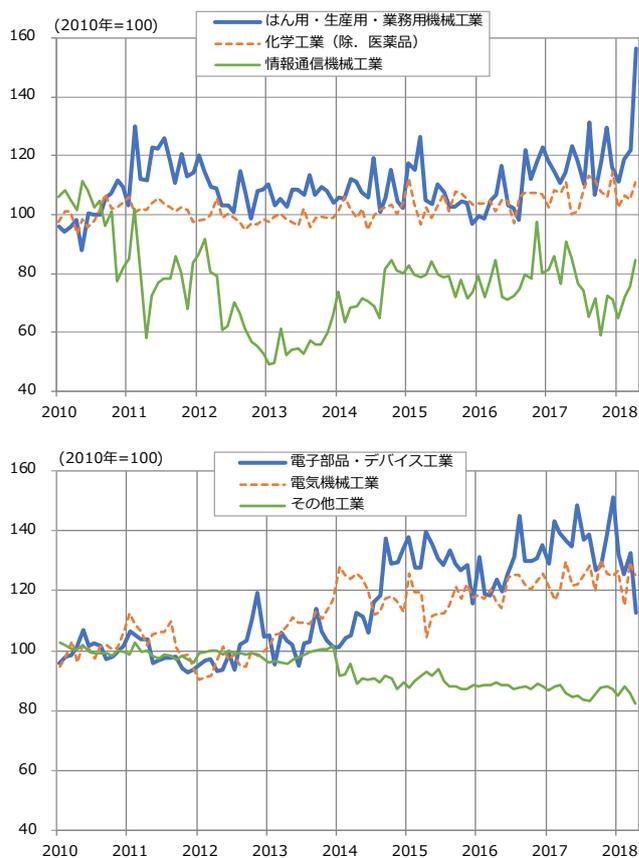
関西の鉱工業生産動向の推移(2010年1月~2018年4月)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「鉱工業生産動向」

関西の業種別生産指数の推移(2010年1月~2018年4月)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「鉱工業生産動向」

### (2) 全国の生産動向

全国 4 月の鉱工業指数(確報値：季節調整済、2010年=100)を見ると、生産は 104.6 で前月比+0.5%と 3 カ月連続の上昇。出荷は 103.1 で同+1.6%と 3 カ月連続の上昇。在庫は 112.8 となり同-0.6%と 3 カ月ぶりに下落した。

業種別にみると、輸送機械(前月比+3.9%)、はん用・生産用・業務用機械(同+1.3%)、金属製品(同+4.0%)等が増産となった。一方、電子部品・デバイス(同-5.7%)、プラスチック製品(同-2.0%)、電気機械(同-1.3%)が減産となった。

なお、製造工業生産予測調査(速報値ベース)によると、5 月は前月比+0.3%と増産が、6 月は同-0.8%と減産が予測されている。予測が実現すれば 4-6 月期の生産は 1-3 月期比+0.7%となり、増産が見込まれる。

全国の鉱工業指数の推移(2010年1月~2018年4月)



(出所) 経済産業省「鉱工業指数」

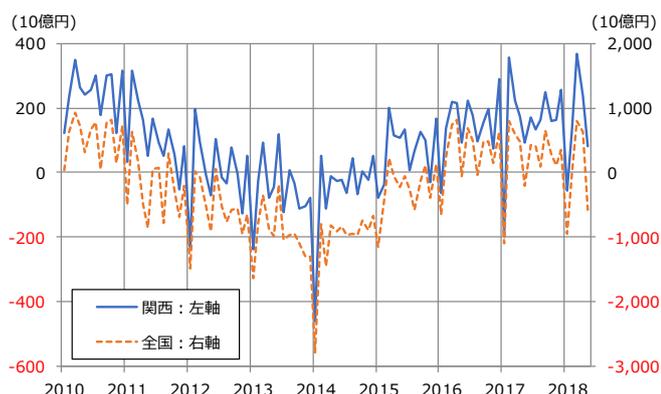
## 【貿易動向】

### (1) 純輸出

貿易概況(速報値)によれば、関西4月の貿易収支は+826億円と4カ月連続の黒字となった。黒字幅は前年同月(+942億円)と比べて-12.3%縮小した。輸出額の伸びが、輸入額の伸びを下回ったため。

また、全国5月の貿易収支(速報値)は、-5,783億円と3カ月ぶりの赤字となった。赤字幅は前年同月(-2,044億円)と比べて+182.9%拡大した。

関西・全国の貿易収支の推移(2010年1月~2018年5月)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

### (2) 輸出

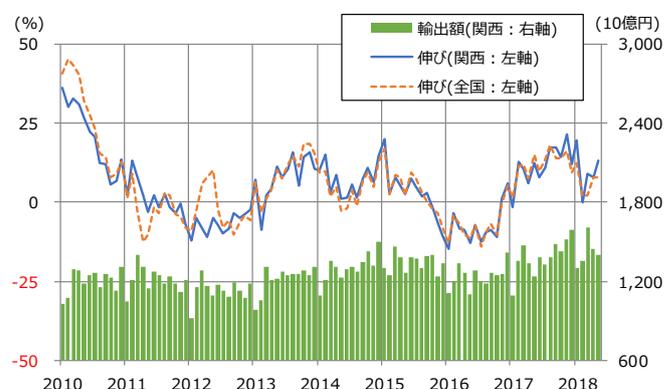
関西5月の輸出額(速報値)は1兆4,027億円で前年同月比+13.2%と3カ月連続の増加。財別に見れば、半導体等電

子部品(単月過去最高額)、コンデンサー(単月過去最高額)等が増加した。中国を中心とするアジア向けにIT関連需要が伸びたため。

なお、日銀の実質輸出(季節調整値, 2015年平均=100)によると、5月(速報値)は113.8となり、前月比-1.1%下落した。3カ月ぶりのマイナス。しかし、4-5月平均は1-3月平均比+0.9%と上昇した。

全国5月の輸出額(速報値)は6兆3,233億円で、前年同月比+8.1%と18カ月連続の増加。財別に見れば、自動車、半導体等製造装置、自動車の部分品等が増加した。

関西・全国の輸出の推移(2010年1月~2018年5月)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

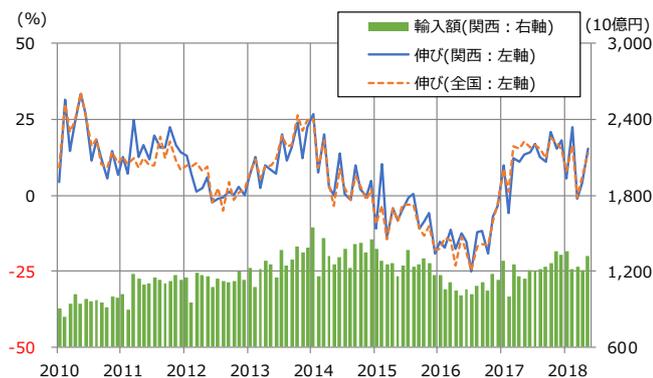
### (3) 輸入

関西5月の輸入額(速報値)は1兆3,201億円、伸びは前年同月比+15.3%と2カ月連続の増加。財別に見れば、原油及び粗油、医薬品(単月過去最高額)等が増加した。

なお、日銀の実質輸入(季節調整値, 2015年平均=100)によると、5月(速報値)は109.2となり、前月比+8.8%と大幅上昇した。3カ月ぶりのプラス。結果、4-5月平均は1-3月平均比-2.0%と下落した。

全国5月の輸入額(速報値)は6兆9,016億円(単月過去最高額)で、前年同月比+14.0%と2カ月連続の増加。財別に見れば、原油、航空機類、医薬品等が増加した。

関西・全国の輸入の推移(2010年1月～2018年5月)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

#### (4) 関西の地域別貿易

関西5月の貿易収支を地域別に見ると、対アジア(含中国)の貿易収支は+2,220億円と16カ月連続の黒字であり、黒字幅は前年同月比+1.7%拡大した。輸出(9,411億円)は3カ月連続の増加(同+11.2%)。財別に見れば、半導体等電子部品、コンデンサー等が増加した。輸入(7,191億円)は2カ月連続の増加(同+14.5%)。財別に見ると、衣類及び同附属品、天然ガス及び製造ガス等が増加した。

うち、対中貿易収支は-436億円と2カ月連続の赤字となった(前年同月差+90億円)。輸出(3,650億円)は3カ月連続の増加(前年同月比+18.2%)。財別に見ると、半導体等電子部品、半導体等製造装置等が増加した。輸入(4,087億円)は2カ月連続の増加(同+13.0%)。財別に見ると、衣類及び同附属品、通信機等が増加した。

対米貿易収支は+732億円の黒字となり、黒字幅は4カ月ぶりに拡大した(前年同月比+38.6%)。輸出(1,932億円)は2カ月連続の増加(同+14.6%)。財別に見れば、無機化合物、鉄鋼等が増加した。輸入(1,200億円)は2カ月連続の増加(同+3.7%)。財別に見れば、有機化合物、科学光学機器等が増加した。

対EU貿易収支は-187億円と4カ月ぶりの赤字となり、赤字幅は2カ月ぶりに拡大した(前年同月比+2.9%)。輸出(1,433億円)は13カ月連続の増加(同+20.0%)。財別に見れば、建設用・鉱山用機械、遊戯用具等が増加した。輸入

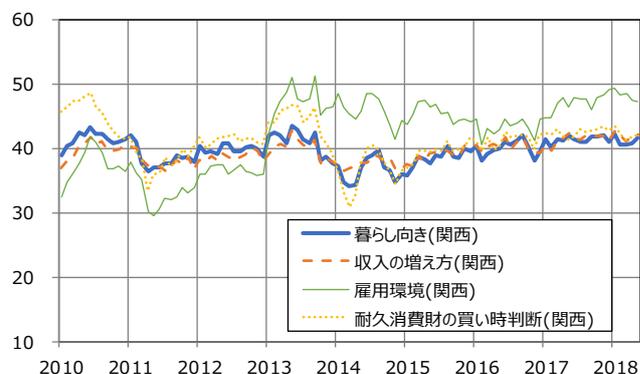
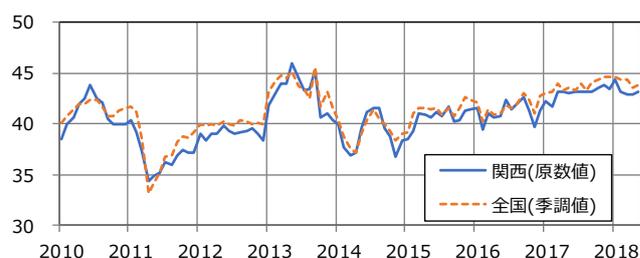
(1,619億円)は2カ月ぶりの増加(同+17.7%)。財別に見れば、医薬品、たばこ等が増加した。

#### 【消費者センチメント】

##### (1) 消費者態度指数の動向

関西5月の消費者態度指数(原数値)は43.2と前月比+0.3ポイント上昇し、4カ月ぶりの改善。同指数構成項目を見ると、「暮らし向き」(41.5)は同+0.8ポイント、「収入の増え方」(42.1)は同+0.5ポイント、「耐久消費財の買い時判断」(42.1)は同+0.4ポイント、いずれも2カ月連続の上昇となった。一方、「雇用環境」(47.1)は同-0.3ポイントと高水準だが2カ月連続の下落であった。

消費者態度指数の推移(2010年1月～2018年5月)



(出所) 内閣府「消費動向調査」

また、全国(季節調整値)は43.8と前月比+0.2ポイント上昇し、6カ月ぶりの改善。同指数構成項目を見ると、「暮らし向き」(42.1)は同+0.6ポイントと6カ月ぶり、「雇用環境」(48.2)、「耐久消費財の買い時判断」(43.0)はどちらも同+0.3ポイントで2カ月ぶりの上昇であった。一方、「収入の増え方」(42.0)は同-0.3ポイントと3カ月連続で下落した。株高が景況感改善に寄与した一方で、ガソリンなど生

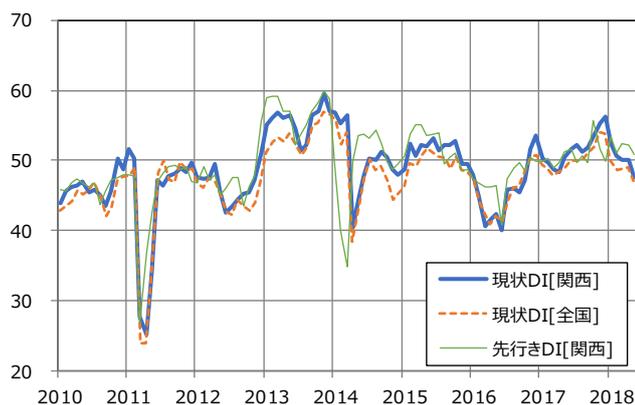
活必需品の価格が上昇し、消費者心理は小幅な上昇にとどまったとみられる。内閣府は基調判断を「弱含んでいる」と前月から据え置いた。

## (2) 景気ウォッチャー指数の動向

関西 5 月の景気ウォッチャー現状判断 DI(季節調整値)は 47.5 と前月比-2.6 ポイント下落し、2 カ月ぶりの悪化。景況感のよし悪しの分かれ目となる 50 を 2017 年 4 月以来、13 カ月ぶりに下回った。関西ではインバウンド消費が堅調である一方で、天候不順で気温が低く、3-4 月に売上が好調であった衣料品の反動減がみられたことなどが消費マインドの悪化に寄与したとみられる。全国と同指数は 47.1 と同-1.9 ポイント低下し、3 カ月ぶりの悪化となった。5 カ月連続で 50 を下回る状態が続いている。

先行き判断 DI(季節調整値)は、関西では 50.8 と前月比-1.3 ポイント下落し、2 カ月連続の悪化。好調なインバウンド消費に加え、猛暑による夏物商品の販売増加への期待は高いものの、世界情勢の緊迫化による為替や株価・インバウンド市場への影響を懸念するコメントも多い。全国は同-0.9 ポイント低下し 49.2 となり、2 カ月ぶりの悪化であった。

景気ウォッチャー調査の推移(2010 年 1 月～2018 年 5 月)



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

## 【所得・個人消費】

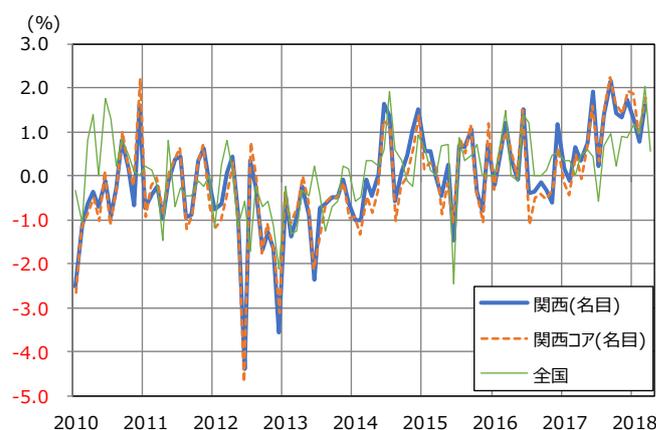
### (1) 現金給与総額

関西 2 府 4 県の 3 月の現金給与総額(APIR 推計)は 28 万

279 円で前年同月比+1.6%となり、13 カ月連続の増加。府県別では、奈良県が同+6.1%(3 カ月ぶり)、和歌山県は同+4.2%(2 カ月連続)、兵庫県が同+2.6%(8 カ月連続)、大阪府が同+1.6%(10 カ月連続)、京都府が同+0.9%(2 カ月ぶり)とそれぞれ増加した。一方、滋賀県は同-4.8%(3 カ月連続)と減少した。また、3 月の京都・大阪・兵庫の加重平均をとった「関西コア」賃金指数(APIR 推計)は同+1.8%増加し、11 カ月連続の改善であった。

関西 2 府 4 県の現金給与総額から物価上昇分(持家の帰属家賃を除く総合)を除いた 3 月の実質現金給与総額(実質賃金)は前年同月比+0.4%と増加した。3 カ月ぶりの改善となったものの、消費者物価指数(持ち家の帰属家賃を除く総合)が 1%を超えて上昇しており、実質賃金の伸びは小幅な伸びにとどまった。

現金給与総額の推移(2010 年 1 月～2018 年 4 月)



(注)関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)は APIR 推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(2011 年平均)で加重平均。  
(出所)厚生労働省「毎月勤労統計調査」、総務省「消費者物価指数」より作成

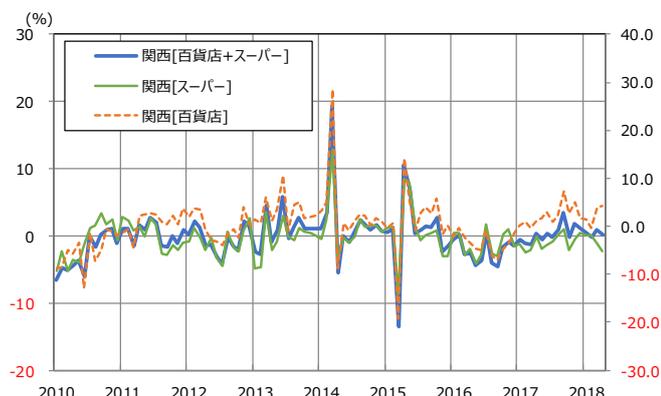
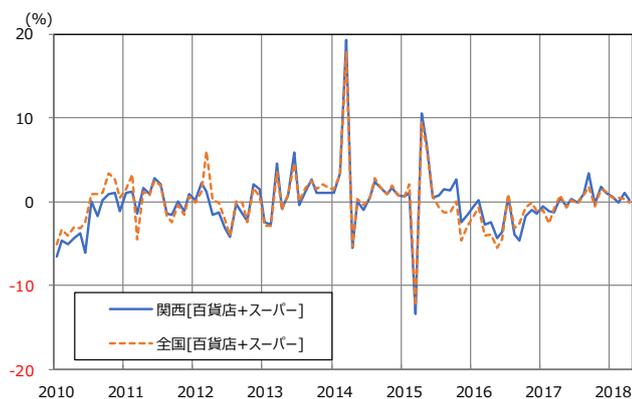
全国 4 月の現金給与総額(確報値)をみると、前年同月比+0.6%増加した。9 カ月連続の改善だが、速報値(同+0.8%)から幾分下方修正された。内訳をみると、所定内給与は同+0.9%と 13 カ月連続の増加。所定外給与は同+1.8%と 6 カ月連続の増加。特別給与は同-8.3%と 9 カ月ぶりに減少した。エネルギー価格を始めとする物価上昇により、実質現金

給与総額(実質賃金)は同-0.2%と2カ月ぶりに減少した。速報値(同+0.0%)から幾分下方修正された。

## (2) 大型小売店販売額

関西4月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は3,051億円となり、前年同月比+0.2%と2カ月連続のプラス。うち、百貨店は同+4.2%と、2カ月連続のプラス。国内外向けの高額品が好調であり、気温上昇により初夏物アイテムの販売が伸びたため。なお、関西の百貨店免税売上(日銀大阪支店)によると、4月は同+58.4%(3月:同+77.7%)と18カ月連続の増加。インバウンドによる売り上げは依然好調である。また、スーパーは同-2.3%と2カ月連続のマイナス。農産品価格の低下と水産品の低調が影響した。

大型小売店販売額の推移(2010年1月~2018年4月)



(注) 福井県を含む。(出所) 経済産業省「商業動態統計」

全国4月の大型小売店販売額(全店ベース)は1兆5,562億円、前年同月比-0.1%と6カ月ぶりにマイナスに転じた。

うち、百貨店は同+0.2%と5カ月ぶりのプラス。一方、スーパーは同-0.3%と6カ月ぶりのマイナス。なお、小売業販売額(季節調整済指数、後方3カ月移動平均)は前月比+0.4%と3カ月ぶりに上昇した。経済産業省は基調判断を、「緩やかに持ち直している」と前月から据え置いた。

## 【住宅投資】

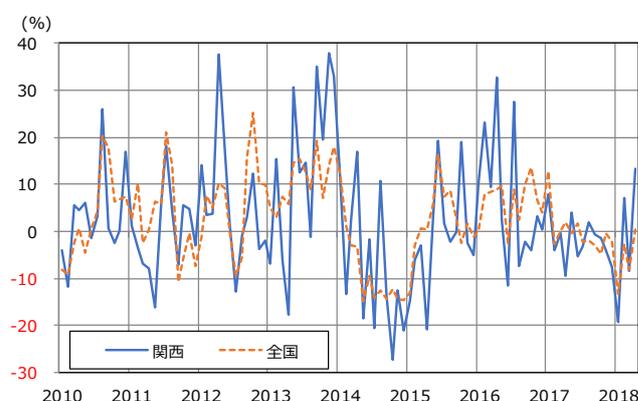
### (1) 新設住宅着工の動向

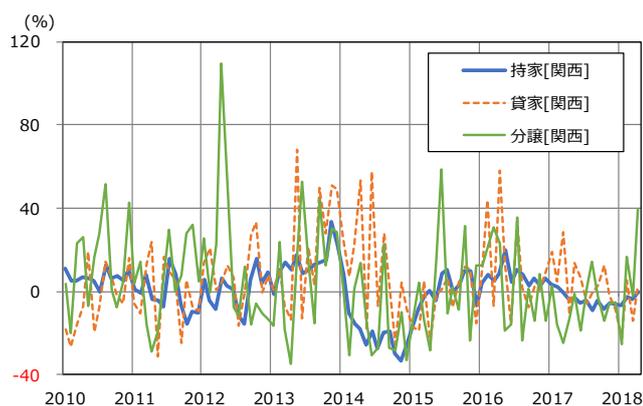
関西4月の新設住宅着工戸数は13,392戸と前年同月比+13.4%と、前月(同-8.5%)から2カ月ぶりに大幅に増加した。新設住宅着工戸数は2015年6月(14,330戸)以来、伸び率は16年7月(27.6%)以来の最高値となった。

関西の住宅着工戸数を利用関係別にみると、分譲は前年同月比+39.6%と急増し4,964戸となり、2カ月ぶりの増加。うち、マンションが同+73.0%と大幅増加し、全体の伸びを押し上げた。貸家は5,557戸で同+3.1%と2カ月ぶりの増加。持家は2,783戸で同+0.0%となり、13カ月連続の減少が止まった。

全国の同月の新設住宅着工戸数は84,226戸と前年同月比+0.3%と10カ月ぶりに増加したものの、今後も増勢が続くかどうか注視する必要がある。ただし、利用関係別にみると、持家、貸家のいずれも減少、分譲のみが増加した。持家は23,289戸で同-1.9%と3カ月連続の減少。貸家は35,447戸で同-2.1%と11カ月連続の減少となった。一方、分譲は24,904戸で同+5.0%と2カ月ぶりの増加となった。

新設住宅着工戸数の推移(2010年1月~2018年4月)





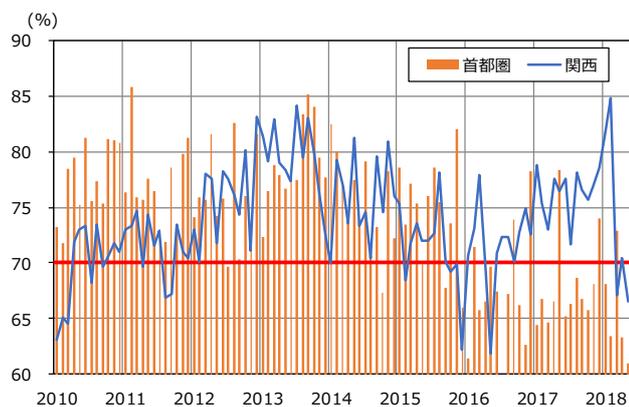
(出所) 国土交通省「建築着工統計」

## (2) マンション市場動向

関西5月のマンション契約率は66.6%(季節調整値:APIR推計)となり、前月(70.4%)から-3.9%ポイント下落した。2カ月ぶりの減少で、好不調の目安となる70%を再び割り込んだ。大阪市内で大型物件の発売が少なかったことなどが影響した。

一方、同月の首都圏のマンション契約率は61.0%(季節調整値:APIR推計)と前月比-2.3%ポイントと2カ月連続で70%を下回った。

関西・首都圏のマンション契約率の推移(季節調整値)



(出所) 株式会社不動産研究所「マンション市場動向」

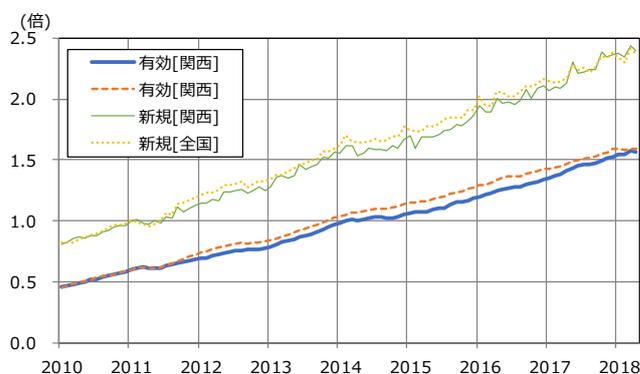
## 【雇用動向】

### (1) 求人倍率の動向

関西4月の有効求人倍率(季節調整値、受理地別)は、1.56倍で前月比-0.01ポイント小幅下落。2014年9月以来43

カ月ぶりに悪化したものの、依然として高水準である。内訳をみると、有効求人数が同横ばいで、有効求職者数は同+0.3%と小幅増加。労働需給が引き締まった状態が続いている。府県別では、大阪府が1.73倍で同+0.01ポイント、奈良県が1.43倍で同+0.01ポイント上昇。一方、兵庫県が1.38倍で同横ばい、和歌山県が1.27倍で同-0.03ポイント、京都府は1.58倍で同-0.04ポイント、滋賀県は1.37倍と同-0.05ポイントそれぞれ低下した。

求人倍率(受理地別)の推移(2010年1月~2018年4月)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」(下表も同様)

関西2府4県有効求人倍率(2018年3-4月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
3月	1.59	1.57	1.42	1.62	1.72	1.38	1.42	1.30
4月	1.59	1.56	1.37	1.58	1.73	1.38	1.43	1.27
前月差	0.00	▲0.01	▲0.05	▲0.04	0.01	0.00	0.01	▲0.03

また、関西4月の新規求人倍率は、2.39倍で前月比-0.05ポイント低下し、2カ月ぶりに悪化した。しかし、新規求人数が同+0.4%(3カ月連続)、新規求職者数も同+2.3%(2カ月ぶり)に増加していた。

全国4月の有効求人倍率(季節調整値)は1.59倍と前月比横ばいとなり、高水準が続いている。また、新規求人倍率は2.37倍で同-0.04ポイント低下し、2カ月ぶりに悪化した。

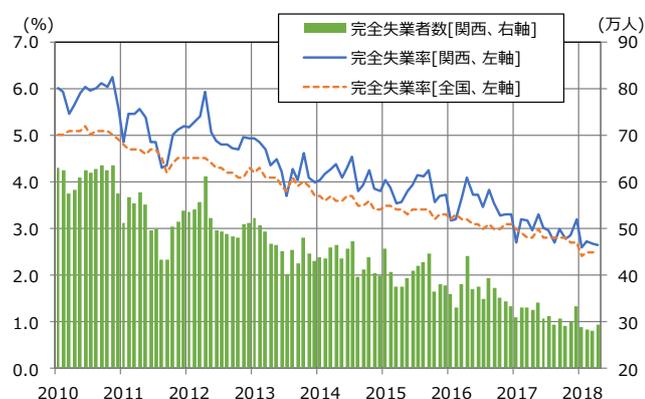
### (2) 完全失業率の推移

関西4月の完全失業率(季節調整値:APIR推計)は2.7%と2カ月連続で前月から横ばいとなり、極めて低水準で推移している。内訳をみると、労働力人口と就業者数がともに増加しており、足下の雇用情勢は好調といえよう。また、

完全失業者数(季節調整値 : APIR 推計)は 29.5 万人で前月比+1.5 万人と 4 カ月ぶりに増加した。

全国 4 月の完全失業率(季節調整値)は 2.5%と、こちら  
も 2 カ月連続で前月から横ばい。2%台半ばの低水準が 4  
カ月連続で続いている。完全失業者数(季節調整値)は 172  
万人で前月から-1 万人小幅減少(3 カ月ぶり)。理由別にみ  
ると、「非自発的な離職」は同+4 万人増加、「自発的な離  
職(自己都合)」が同-4 万人減少、「新たに求職」は同-1 万  
人減少した。

完全失業率の推移(2010 年 1 月～2018 年 4 月)



(出所)総務省「労働力調査」

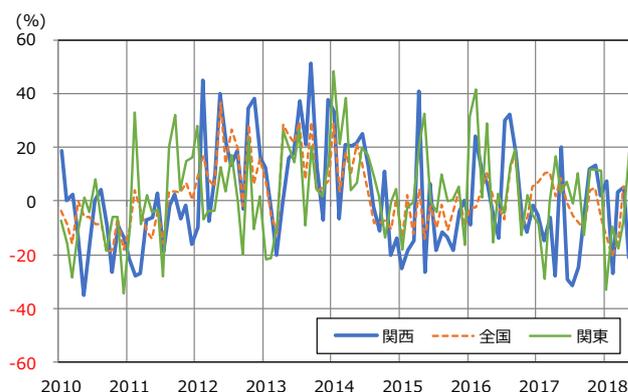
## 【公共投資・建設工事】

### (1) 公共工事請負金額

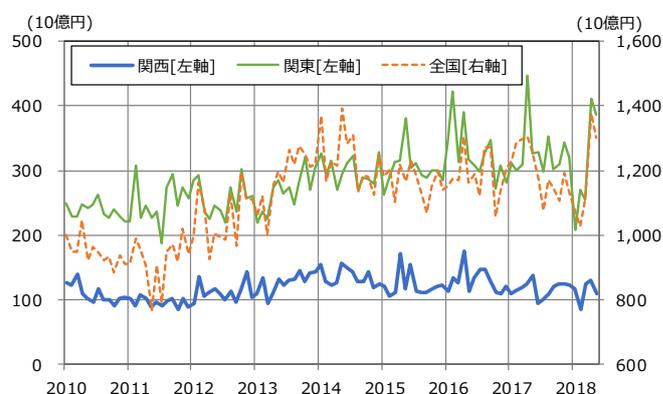
関西 5 月の公共工事請負金額は 1,164 億円で前年同月比  
-21.0%と 3 カ月ぶりの減少。一方、関東は 3,069 億円で同  
+18.3%と 5 カ月ぶりの増加。全国は 1 兆 2,857 億円で同  
+3.5%と 2 カ月連続の増加であった。

季節調整値(APIR 推計)で見ると、関西は前月比-16.0%急  
減し、3 カ月ぶりのマイナス。全国も同-5.6%と 3 カ月ぶり  
の減少であった。関西の公共工事請負金額は全国と同様持ち  
直しからマイナスに転じた。

公共工事請負金額(伸び率)の推移(2010 年 1 月～2018 年 5 月)



公共工事請負金額(季調値)の推移(2010 年 1 月～2018 年 5 月)



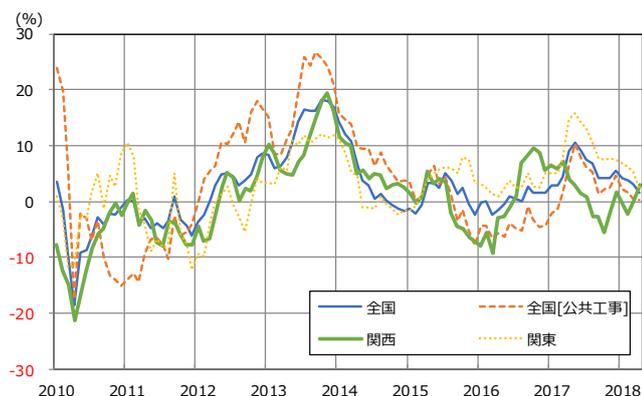
(出所)東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

### (2) 建設工事

関西 4 月の建設工事出来高は 4,847 億円となり、前年同  
月比+2.9%と 2 カ月連続の増加。また、関東は 1 兆 4,983  
億円で同+2.2%と 2015 年 3 月以来、38 カ月連続で増加が  
続いている。東京オリンピック・パラリンピックによる建設  
工事が 2020 年 2 月頃まで続くため、今後も増加すると見込  
まれる。

全国 4 月の建設工事出来高は 3 兆 9,609 億円となり、前  
年同月比+1.5%と、2016 年 6 月以来、23 カ月連続で増加  
している。しかし、伸びは 17 年 5 月以降減速している。う  
ち、公共工事は 1 兆 4,553 億円で同+0.3%と 14 カ月連続  
で増加が続いているが、伸びは低調である。

建設工事出来高の推移(2010年1月~2018年4月)



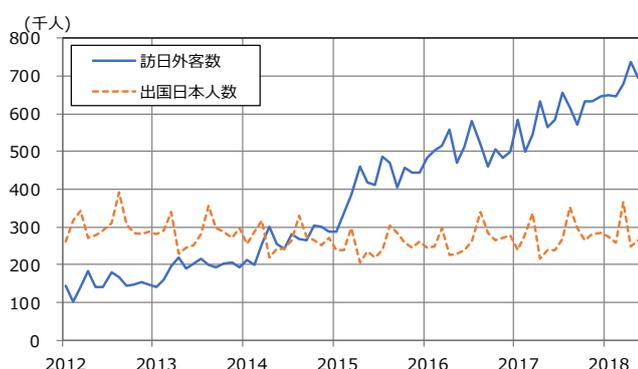
(注) 2016年4月分より新推計に基づく出来高の参考値を反映。  
(出所)国土交通省「建設総合統計」

## 【関西モニター】

### (1) 訪日外客数トレンド

5月の関西への訪日外客数は69万4,010人となり、単月で過去最高を更新した前月(73万5,850人)ほどではなれが、高水準となった。伸びも、前年同月比+23.0%と15カ月連続で増加した。また、14カ月連続で2桁増が続いている。出外外国人数は68万7,550人と同+22.9%増加した。結果、外国人旅客総合数(出入国合計)は138万1,560人と同+23.0%増加した。また、出外日本人数は26万6,410人で、同+12.2%と3カ月連続で増加した。訪日外客数、出外日本人数ともに増加しており、好調が続く。

訪日外客数と出外日本人数の推移(2012年1月~2018年5月)



(出所) 一般財団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

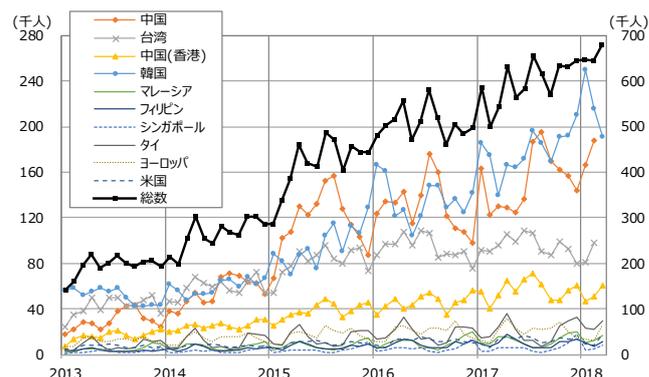
### (2) 地域別訪日外客数

関西訪日外客数を国籍別・地域別にみると、3月は韓国からの入国者数が19万904人(前年同月比+36.1%)となり、7カ月連続で最多となった。次いで、中国(香港除く)が18万749人(同+39.1%)、台湾が9万5,925人(同-0.3%)、香港が6万1,032人(同+16.9%)であった。

他のアジア各国は、タイが2万9,922人(前年同月比+24.6%)、マレーシアが1万6,987人(同+12.5%)、フィリピンが1万1,681人(同+20.2%)、シンガポールが7,558人(同+34.9%)であった。

他地域を見ると、欧州全体では2万6,677人(前年同月比+21.5%)、米国が1万7,255人(同+32.0%)であった。アジア圏だけでなく、欧米からの訪日客も増加している。

地域別訪日外客数(右軸：総数、左軸：各国、2018年3月まで)



(出所) 法務省「出入国管理統計」

## 【中国景気モニター】

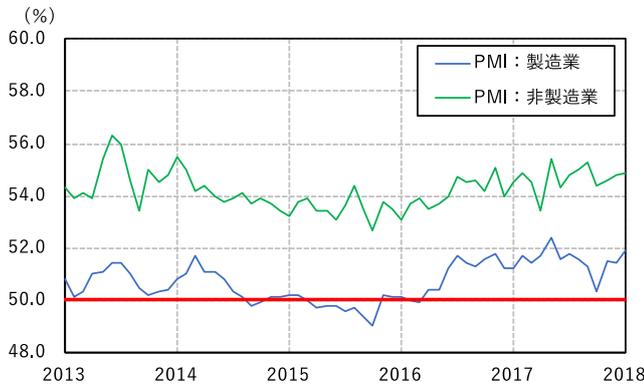
### (1) センチメント

5月の製造業の購買担当者景況指数(PMI)は51.9となり、前月比+0.5%ポイント上昇した。2カ月ぶりの前月比改善で、22カ月連続で景気分岐点の50を上回った。非製造業PMIは54.9となり、前月比+0.1%ポイントと3カ月連続で上昇した。

製造業PMIのうち、生産指数は54.1となり、前月より+1.0%ポイント増加した、2カ月ぶりの改善。輸出新規受注指数は51.2となり、同+0.5%ポイント増加し、2カ月ぶり

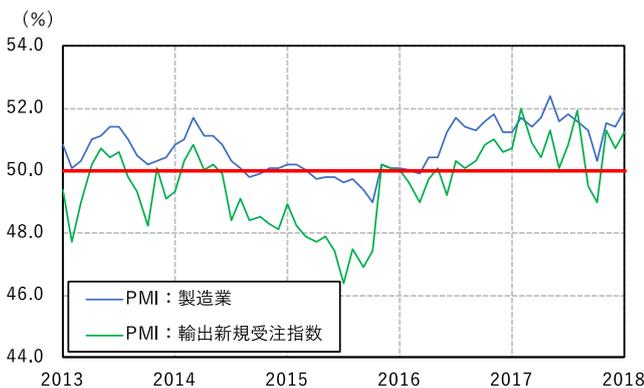
の改善。雇用指数は同+0.1%ポイントの49.1となり、2カ月ぶりの改善だが、14カ月連続で50を下回っている。

製造業・非製造業購買担当者景況指数(2013年5月~2018年5月)



(出所) 中国国家統計局; CEIC データベース

製造業購買担当者景況指数(2013年5月~2018年5月)



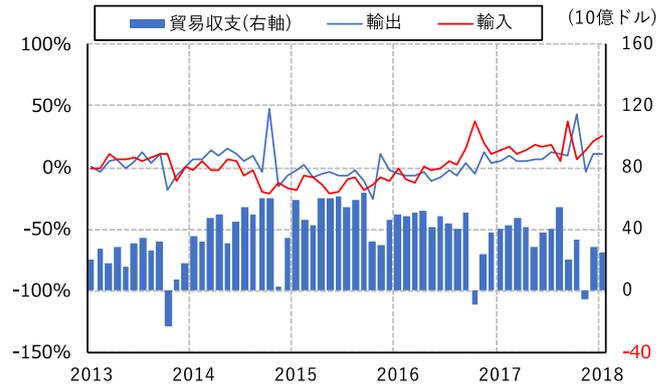
(出所) 中国国家統計局; CEIC データベース

## (2) 貿易動向

5月の貿易収支は249.2億ドルの黒字となった。輸出額(速報値, ドル・ベース)は2,128.7億ドルとなり、前年同月比+11.4%と2カ月連続の増加。輸入額は1,879.5億ドルとなり、同+25.1%と19カ月連続で増加した。

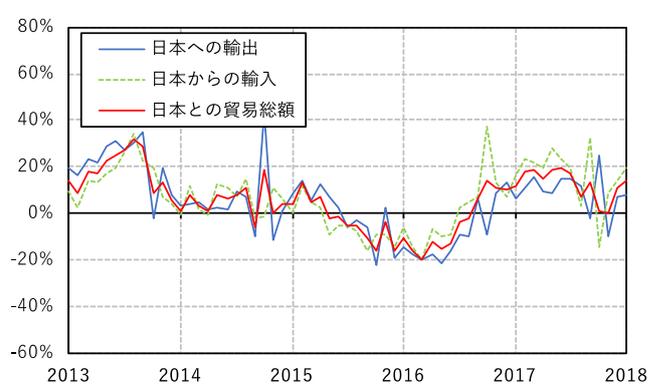
また、対日貿易収支は-38.0億ドルとなり、16カ月連続の赤字となった。対日輸出額は118.7億ドルとなり、前年同月比+10.2%と2カ月連続の増加。対日輸入額は156.8億ドルとなり、同+22.5%で3カ月連続の増加。なお、円ベースでみると、対日輸出額は同+7.7%と2カ月連続の増加。また、対日輸入額は同+19.7%と3カ月連続の増加となった。

中国の貿易動向(ドル・ベース, 2013年5月~2018年5月)



(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

日本との貿易(円ベース, 2013年5月~2018年5月)



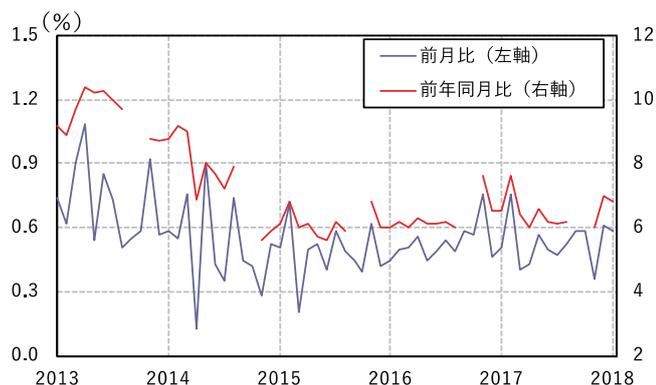
(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

## (3) 工業生産

5月の工業生産は前月比+0.58%となり、伸びは前月から-0.03%ポイント低下した。また、前年同月比+6.8%と伸びは前月から-0.2%ポイント低下し、2カ月ぶりに減速した。

産業別に見ると、パソコン・通信設備製造業(前年同月比+13.5%)、自動車製造業(同+13.2%)、電力・熱力生産・供給業(同+12.4%)などが高い伸びを示す一方で、非金属鉱物製品製造業(同+2.6%)、金属製品製造業(同+2.5%)、鉄道・輸送機器製造業(同+2.5%)などは、比較的低調な伸びにとどまった。また、繊維工業(同-1.5%)が減産している。

工業生産指数(2013年5月~2018年5月)



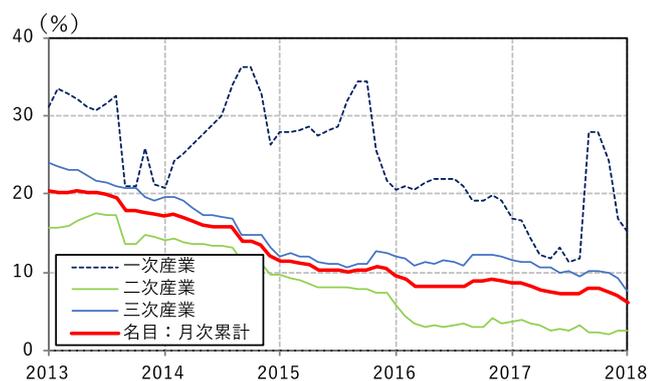
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

#### (4) 固定資産投資

1-5 月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同期比+6.1%となり、1-4 月期(同+7.0%)より-0.9%ポイント低下し、3 カ月連続で減速している。

1-5 月期を産業別に見ると、第 1 次産業は前年同期比+15.2%増加したが、伸びは前月から-1.6%ポイントと 3 カ月連続の減速。第 2 次産業は同+2.5%と伸びは前月から横ばい。第 3 次産業は同+7.7%と伸びは 3 カ月連続で減速した(前月差-1.6%ポイント)。

固定資産投資(産業別)累積伸び率(2013年5月~2018年5月)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

#### (5) 消費

5 月の社会消費品小売総額(名目)は前年同月比+8.5%となり、伸びは前月から-0.9%ポイント下落し、2 カ月連続で減速している。また、社会消費品小売総額の実質値(APIR 推

計)をみると、伸びは同+7.0%と前月から-1.0%ポイント下落し、2 カ月連続のマイナスであった。

社会消費品小売総額(2013年5月~2018年5月)

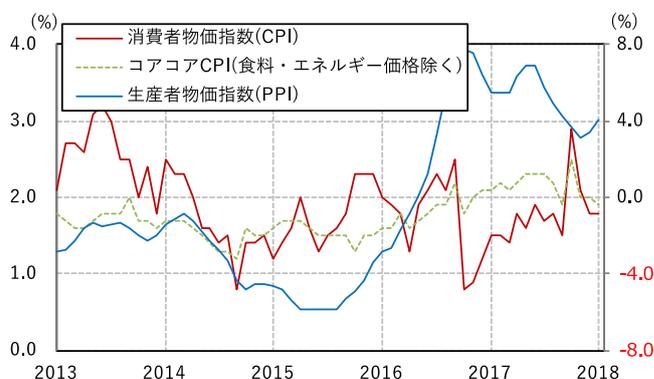


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

#### (6) 物価水準

5 月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比+1.8%で、伸びは前月から横ばい。また、生産者物価指数(PPI)は同+4.1%となり、前月から+0.7%ポイント上昇し、2 カ月連続で伸びは加速した。

消費者物価指数・生産者物価指数(2013年5月~2018年5月)



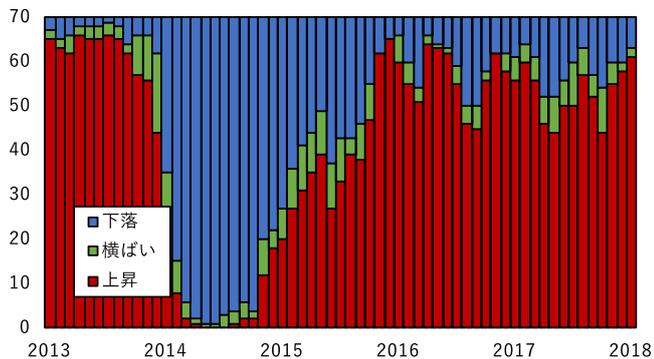
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

#### (7) 不動産市場

5 月の不動産市場は 3 月以降、回復の傾向を示している。不動産価格(新築住宅価格)をみると、中国主要 70 都市のうち、上昇した都市数は 61 で前月から 3 都市増加し、3 カ月連続の増加。一方、下落した都市数は 7 で前月から 3 都市減少した。また、横ばいの都市数は 2 で前月から横ばいだった。

新築住宅価格の主要都市集計(2013年5月~2018年5月)

(都市数)

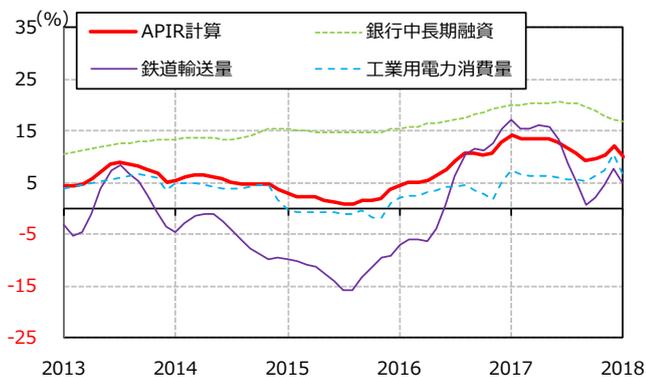


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

### (8) リコノミクス指数

4月のリコノミクス指数(APIR試算)は前年同月比+9.9%と前月から-2.3%ポイント下落した。内訳をみると、銀行中長期融資は同+16.9%となり、伸びは前月から-0.4%ポイント低下し、7カ月連続の減速。鉄道輸送量は同+5.0%となり、伸びは前月から-2.7%ポイント下落し、4カ月ぶりの減速。工業用電力消費量は同+6.8%となり、伸びは前月から-3.6%ポイント下落し、4カ月ぶりの減速。

APIR試算のリコノミクス指数とその内訳(2018年4月まで)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

Contact : 木下祐輔・生田祐介・Cao Thi Khanh Nguyet・馬騰

Tel. 06-6485-7694

E-mail. [contact@apir.or.jp](mailto:contact@apir.or.jp)

【主要月次統計】

月次統計	17/5M	17/6M	17/7M	17/8M	17/9M	17/10M	17/11M	17/12M	18/1M	18/2M	18/3M	18/4M	18/5M
景況感													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、季節調整値)	50.4	51.7	52.2	51.2	51.8	53.3	55.2	56.2	52.4	50.7	50.1	50.1	47.5
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、季節調整値)	51.2	51.6	49.7	50.6	49.6	55.6	51.7	49.9	53.4	51.0	52.3	52.1	50.8
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、季節調整値)	49.1	50.0	49.9	50.0	51.1	52.0	54.1	53.9	49.9	48.6	48.9	49.0	47.1
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、季節調整値)	50.0	50.5	50.5	51.2	51.1	54.5	53.4	52.7	52.4	51.4	49.6	50.1	49.2
消費者心理・小売													
[関西]消費者態度指数(原数値)	43.0	43.2	43.2	43.2	43.1	43.6	43.8	43.4	44.4	43.2	42.9	42.9	43.2
[関西]暮らし向き(原数値)	42.0	41.3	41.0	41.0	41.7	41.7	41.9	40.9	42.2	40.6	40.6	40.7	41.5
[関西]収入の増え方(原数値)	42.4	41.6	41.2	41.8	41.8	41.8	41.9	41.0	42.7	41.8	41.1	41.6	42.1
[関西]雇用環境(原数値)	46.4	47.9	47.6	47.6	45.9	47.9	48.2	49.1	49.3	48.2	48.5	47.4	47.1
[関西]耐久消費財の買い時判断(原数値)	41.3	41.8	42.9	42.5	42.8	43.0	43.3	42.7	43.4	42.2	41.3	41.7	42.1
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	43.6	43.3	43.9	43.3	44.1	44.4	44.6	44.6	44.6	44.3	44.3	43.6	43.8
[関西]大型小売店販売額(10億円)	309.0	304.9	339.1	305.4	293.8	310.3	329.4	410.6	332.9	286.3	316.9	305.1	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	-0.5	0.3	-0.1	0.8	3.4	-0.2	1.7	1.0	0.6	-0.1	1.0	0.2	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1,588.1	1,569.4	1,717.9	1,565.5	1,496.8	1,588.8	1,671.3	2,092.1	1,682.6	1,456.5	1,635.1	1,556.2	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	-0.6	0.1	-0.2	0.7	1.8	-0.5	1.4	1.2	0.5	0.5	0.2	-0.1	UN
住宅・建設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	11,115	12,002	12,601	11,790	11,354	12,164	11,764	10,224	9,196	11,387	10,788	13,392	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比)	4.1	-5.4	-3.3	1.8	-0.7	-1.5	-4.0	-7.7	-19.4	7.0	-8.5	13.4	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	78,481	87,456	83,234	80,562	83,128	83,057	84,703	76,751	66,358	69,071	69,616	84,226	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比)	-0.3	1.7	-2.3	-2.0	-2.9	-4.8	-0.4	-2.1	-13.2	-2.6	-8.3	0.3	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	76.5	77.6	71.7	78.2	76.6	75.6	76.9	78.6	81.9	84.9	67.1	70.4	66.6
[関西]マンション契約率(原数値)	79.9	80.2	73.6	80.0	74.5	74.2	77.7	74.9	78.1	83.9	67.3	71.0	69.5
[首都圏]マンション契約率(季節調整値)	78.4	65.2	66.4	68.6	68.8	65.7	68.1	74.0	68.1	63.5	73.0	63.3	61.0
[首都圏]マンション契約率(原数値)	79.9	67.2	71.9	68.2	64.9	60.7	67.9	72.5	65.2	65.0	74.7	63.0	62.2
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	147.3	122.4	120.3	102.7	139.4	129.9	85.4	97.5	65.4	49.8	122.2	211.7	116.4
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比)	20.0	-29.2	-31.3	-24.7	-8.1	11.7	13.2	1.8	7.5	-26.9	3.4	4.9	-21.0
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	1,242.1	1,518.5	1,288.8	1,149.4	1,319.1	1,171.2	863.3	797.3	610.1	613.9	1,269.7	2,177.7	1,285.7
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比)	8.5	-0.6	-5.4	-7.9	-10.4	3.9	5.0	-6.4	-12.8	-20.2	-14.5	5.5	3.5
[関西]建設工事(総合、10億円)	465.1	483.7	500.3	516.6	536.8	547.9	586.5	608.9	589.9	570.2	558.6	484.7	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比)	2.9	1.5	0.8	-2.6	-2.7	-5.6	-1.8	1.6	0.0	-2.2	0.2	2.9	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	3,903.1	4,095.9	4,241.2	4,471.7	4,689.1	4,902.6	4,970.9	5,054.8	4,929.2	4,808.8	4,751.6	3,960.9	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比)	10.5	9.0	7.5	6.8	4.1	4.2	4.3	5.4	4.3	3.7	3.1	1.5	UN
[全国]建設工事(公共工事、10億円)	1,428.6	1,505.1	1,568.4	1,711.7	1,876.0	2,043.9	2,085.1	2,164.5	2,094.8	2,041.1	2,047.6	1,455.3	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比)	10.3	7.7	6.1	5.3	1.4	2.2	2.5	4.6	2.2	1.6	0.5	0.3	UN
生産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	105.7	108.1	106.7	110.9	103.4	105.7	108.9	110.7	103.1	105.9	108.3	114.3	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-4.1	2.3	-1.3	3.9	-6.8	2.2	3.0	1.7	-6.9	2.7	2.3	5.5	UN
[関西]出荷指数(原数値、前年同月比)	3.8	5.4	2.3	6.2	-3.6	0.1	1.6	1.3	1.6	-0.8	1.2	5.3	UN
[関西]在庫指数(原数値、前年同月比)	3.0	1.4	3.7	3.6	2.9	7.8	10.2	9.7	6.8	5.6	8.2	3.4	UN
[関西]出荷指数(季節調整値、10年=100)	103.3	106.0	103.7	107.9	100.5	102.2	107.8	108.3	101.1	104.1	104.7	111.4	UN
[関西]出荷指数(季節調整値、前月比)	-2.7	2.6	-2.2	4.1	-6.9	1.7	5.5	0.5	-6.6	3.0	0.6	6.4	UN
[関西]在庫指数(季節調整値、10年=100)	124.3	122.0	122.9	124.0	124.3	124.9	121.2	122.9	122.9	121.9	127.0	127.1	UN
[関西]在庫指数(季節調整値、前月比)	1.1	-1.9	0.7	0.9	0.2	0.5	-3.0	1.4	0.0	-0.8	4.2	0.1	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	100.7	101.9	101.6	102.9	102.3	102.8	103.5	105.4	100.7	102.7	104.1	104.6	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-2.1	1.2	-0.3	1.3	-0.6	0.5	0.7	1.8	-4.5	2.0	1.4	0.5	UN
[全国]出荷指数(原数値、前年同月比)	5.4	5.3	4.1	5.8	1.6	2.8	2.4	4.3	2.2	0.7	1.4	3.6	UN
[全国]出荷指数(季節調整値、前月比)	-1.3	-2.8	-2.3	-2.9	-2.5	1.9	2.8	1.9	1.5	1.6	3.9	1.7	UN
[全国]在庫指数(季節調整値、10年=100)	98.9	100.5	100.1	101.6	99.8	99.4	101.3	103.3	98.7	100.3	101.5	103.1	UN
[全国]在庫指数(季節調整値、前月比)	-1.5	1.6	-0.4	1.5	-1.8	-0.4	1.9	2.0	-4.5	1.6	1.2	1.6	UN
[全国]在庫指数(季節調整値、10年=100)	110.7	108.9	108.2	107.6	107.4	110.5	109.8	109.8	109.3	109.9	113.5	112.8	UN
[全国]在庫指数(季節調整値、前月比)	-0.2	-1.6	-0.6	-0.6	-0.2	2.9	-0.6	0.0	-0.5	0.5	3.3	-0.6	UN
労働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比)	0.7	1.9	0.2	1.4	2.1	1.4	1.3	1.7	1.3	0.8	1.6	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比)	0.6	1.6	0.3	1.6	2.2	1.6	1.4	1.9	1.9	1.0	1.8	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比)	0.6	0.4	-0.6	0.7	0.9	0.2	0.9	0.9	1.2	1.0	2.0	0.6	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	3.3	3.0	3.0	2.7	3.0	2.8	2.9	3.2	2.6	2.7	2.7	2.7	UN
[関西]完全失業率(原数値)	3.2	3.0	3.1	2.9	3.2	2.8	2.6	2.8	2.7	2.8	2.7	2.6	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	3.0	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7	2.4	2.5	2.5	2.5	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	2.30	2.21	2.22	2.24	2.24	2.38	2.34	2.36	2.37	2.34	2.44	2.39	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	2.28	2.24	2.26	2.22	2.27	2.35	2.34	2.38	2.34	2.30	2.41	2.37	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	1.43	1.45	1.46	1.46	1.47	1.49	1.51	1.52	1.54	1.54	1.57	1.56	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	1.49	1.50	1.51	1.52	1.53	1.55	1.56	1.59	1.59	1.58	1.59	1.59	UN
国際貿易													
[関西]純輸出(10億円)	94.2	172.4	135.1	161.9	249.8	160.1	162.8	256.1	-54.7	133.6	368.4	236.3	82.6
[関西]輸出(10億円)	1,239.5	1,383.9	1,329.4	1,382.4	1,482.4	1,425.3	1,520.4	1,589.4	1,303.4	1,353.5	1,607.2	1,443.2	1,402.7
[関西]輸出(前年同月比)	12.4	8.0	10.8	17.4	17.3	14.4	21.5	12.0	19.5	0.0	8.9	8.1	13.2
[関西]輸入(10億円)	1,145.2	1,211.5	1,194.3	1,220.5	1,232.6	1,265.2	1,357.6	1,333.4	1,358.1	1,220.0	1,238.8	1,207.0	1,320.1
[関西]輸入(前年同月比)	13.3	14.3	16.9	12.7	11.1	20.8	15.5	18.0	5.5	22.3	-1.2	4.0	15.3

注：鉱工業生産 輸送機械工業は銅船・鉄道車両除く。

## Release Calendar for May/June

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
28-May 近畿地域鉱工業生産 動向 (3月:確報値)	29-May 一般職業紹介状況 (4月) 労働力調査 (4月)	30-May 貿易統計 (3月:確報値) 貿易統計 (4月:確・速) 消費動向調査 (5月) 商業動態統計 (4月:速報値)	31-May 鉱工業指数 (4月:速報値) 建築着工統計調査 (4月) 中国製造業 PMI (4月)	01-Jun
04-Jun	05-Jun	06-Jun 毎月勤労統計調査 (4月:速報値)	07-Jun	08-Jun 景気ウォッチャー 調査 (5月) 中国貿易統計 (5月:速報値) 中国消費者物価指数 (5月)** 中国企業物価指数 (5月)**
11-Jun 近畿圏貿易概況 (3月:確報値) 近畿圏貿易概況 (4月:確・速) 近畿地域鉱工業生産 動向 (4月:速報値)	12-Jun	13-Jun 商業動態統計 (4月:確報値)	14-Jun 鉱工業指数 (4月:確報値) 中国工業生産 (5月) 中国消費小売総額 (5月) 中国固定資産投資 (5月) マンション市場動向 (5月)	15-Jun 公共工事前払金保証 統計(5月) 中国不動産市場 (5月)
18-Jun 貿易統計 (5月:速報値) 建設総合統計 (4月)	19-Jun	20-Jun 出入国者数(5月)	21-Jun	22-Jun 毎月勤労統計調査 (4月:確報値)
25-Jun 近畿地域鉱工業生産 動向 (4月:確報値)*	26-Jun 出入国管理統計 (4月)	27-Jun	28-Jun 貿易統計 (4月:確報値) 貿易統計 (5月:確・速) 近畿圏貿易概況 (5月:速報値) 商業動態統計 (5月:速報値)	29-Jun 消費動向調査 (6月) 鉱工業指数 (5月:速報値) 一般職業紹介状況 (5月) 労働力調査 (5月) 建築着工統計調査 (5月)

\*印は発表予定日が未定。 \*\*公表日は翌日。